

国際関係概論 18

林 光

2007年11月1日 木曜日

0 事務連絡

ひょっとしたら授業は休講にするかもしれません。
ただ、レポート提出は予定（授業時間中）通り。

・「外部性（規模の経済）のところがわかりにくい」
もう一度説明します

・「なぜそもそもキーボードにこだわりを持ったのか？」
たしか「ワープロ操縦法」という本にかぶれたのが最初。打ちにくい配列にロック・インしてしまうのがいやだったということです。

・「x歳と知って凄く驚いた。x-10歳に見える。」
こっちはx-10歳に見えること自体がショック。

1 保護貿易

1.1 集合行為理論

保護貿易の利益は一部生産者に集中
自由貿易の利益は消費者全体に拡散

1.2 階級理論

1.2.1 Heckscher-Ohlin approach

Rogowski: 生産要素（資本・労働・土地）に対応した
社会集団（資本家・労働者・地主）を仮定
自由貿易

その国に豊富に賦存する要素へのリターン
社会集団間の政治的連合 / 亀裂¹

¹資本・労働の階級間対立、都会・地方の地域間対立など

1.2.2 Richard-Viner approach

Frieden: 重要なのは各生産要素のうちの特殊要素！
自由貿易
輸入競争部門における特殊要素の所有者への被害
他部門に移れない資本家・労働者間の連合・抵抗

1.3 「埋め込まれた自由主義」理論

ブレトンウッズ体制
国際：自由放任主義（資本移動は規制）
国内：ケインズ型福祉国家

2 通商レジーム

2.1 GATT-WTO 体制

特定互惠主義
拡散互惠主義

最恵国待遇による後者の追求

2.2 FTA

ただ乗り対策 = 二国間の自由化交渉

2.3 法化

協定違反对策 = 紛争処理システム
GATT WTO: より国内の司法に近づく

規律拡大: 知財・サービスも扱う
規律強化: 二審制, negative consensus 方式

謎：法化にもかかわらず遵守率
なぜか？

表 1: 管理学派 vs 執法学派

学派	管理	執行
違反	×意図的	意図的
遵守	多くで	浅いだけ
対策	アメ	ムチ

3 参考文献

- 国際政治経済（飯田敬輔：東大出版会）
- アクセス国際政治経済論
- 戦略的通商政策の経済学（日経新聞社）
- クルーグマン教授の経済入門（日経ビジネス人文庫）
- 「逆第二イメージ論」から「第二イメージ論」への再逆転？（河野勝：『国際政治』2001年）